

金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習（Delta Wall 2026）

金融分野のサイバーセキュリティを巡る状況

- ▶ 世界各国において大規模なサイバー攻撃が発生しており、我が国においても、ランサムウェア攻撃、サプライチェーン攻撃、情報窃取、不正送金等による被害が発生。近年は、フロンティアAIを含む高度なAI技術の進展に伴い、サイバー攻撃の高度化・高速化が懸念されるなど、金融機関を取り巻く脅威は一層複雑化
- ▶ こうした脅威の複雑化は、金融システムの安定に影響を及ぼしかねない大きなリスクとなっており、金融業界全体のサイバーレジリエンス及びインシデント対応能力の更なる向上が不可欠

金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習（Delta Wall 2026）

- ▶ 2026年10月、**金融庁主催による11回目の「金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習」（Delta Wall 2026（注））を実施**

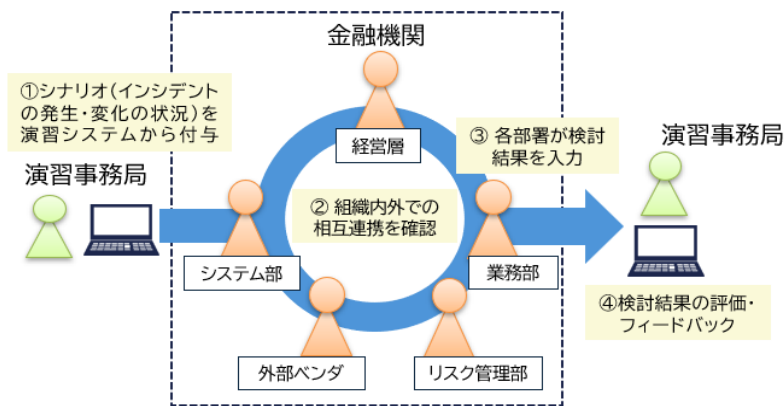
（注）Delta Wall: サイバーセキュリティ対策のカギとなる「自助」、「共助」、「公助」の3つの視点（Delta）＋防御（Wall）

- ▶ インシデント対応能力の底上げを目的として、今回は過去最多の**181先**の金融機関が自職場やテレワーク環境下で演習に参加
- ▶ シナリオについてはサイバー攻撃の高度化を踏まえ、基幹システム等が攻撃を受けた場合の対応態勢の実効性向上を目的の一つとする

演習の特徴

- ✓ インシデント発生時における**初動対応、攻撃内容の調査・分析、顧客対応、復旧対応等の業務継続を確認**
- ✓ 参加金融機関がPDCAサイクルを回しつつ、対応能力の向上を図れるよう、具体的な改善策や優良事例を示すなど、**事後評価に力点**
- ✓ 本演習の結果は、参加金融機関以外にも**業界全体にフィードバック**

演習スキーム



【演習シナリオの概要】

- **銀行、信金・信組・労金・系統金融機関**
（ブラインド方式のため非開示）
- **証券**
✓ サイバー攻撃により不正アクセスおよび不正取引が発生
- **生命保険会社、損害保険会社**
（ブラインド方式のため非開示）
- **資金移動業者・前払式支払手段発行者**
✓ サイバー攻撃により顧客情報漏えい・不正決済が発生
- **暗号資産交換業者**
✓ サイバー攻撃により暗号資産の流出が発生